

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	利用者が発した心の思のこもった言葉を直接記録に残すことが出来ていない。	心のこもった言葉をしっかりと受け止め日々の記録に残すことでケアプランに反映させそれに添ったケアを実践できる。	・毎日のちょっとした言動に常に耳を傾け拾い上げ直ぐに記録に残していく。 ・記録しやすい様式に記録用紙を変更する。	6ヶ月
2	13	緊急時の対応として知識はあるが日々の業務の中で上司等に相談しながら行うのみでいざという時に実践できるスキルはなく訓練の機会もない。	緊急時に職員の誰でもが落ち着いて適格な対応が出来るようになる。	・定期的にロールプレイ訓練を行い、実際の事故を想定した場面から実際に自分がすべき対応を学んでいく。	6ヶ月
3	2	地域との交流を望んでいるが祭礼時お神輿や獅子舞を見せてもらうだけの交流のみでその他の交流は出来ていない。	地域の人と気軽に話が出来たり当たり前近所付き合いが出来地域の一員になれる。	・区長から行事の連絡をもらい参加させてもらう。 ・近所の保育所や小中高の生徒さんとの交流を御願います。 ・散歩時、会った人にきちんと挨拶し世間話しを通して 交流を深める。	6ヶ月
4	5	直接の身体拘束は全く行っていないが、利用者様の意見より職員が先導して物事を決定してしまうことがある。	身体拘束適正化委員会を整備し、問題提起しながら定期的な話し合いを持ちスピーチロックの発生しないケアが出来る。	・身体拘束適正化委員会の整備。 ・定期的なミーティングをもちみんなで話し合い、考えていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。